



笑顔いっぱい  
友達いっぱい

1月の  
教育活動



## 1年生生活「にこにこ 大きせん」

生活では、「おうちの人をにこにこにしよう。」と、冬休みに取り組んだ、にこにこ大作戦の発表をしました。「おふろそうじに挑戦したよ。」「ご飯をつくる手伝いをしたよ。」「大掃除のお手伝いをしたよ。」と自分が実践したお手伝いを伝え合いました。決めたお手伝いを継続した人もいれば、その時々の様子を見て、するお手伝いを決めたという人もいました。「おうちの人に『ありがとう』をたくさん言ってもらえてうれしかったから、にこにこ大作戦カードなしでも続けたいな。」という思いが出てきました。



## 2年生オリジナル楽器をつきました

図工では空き箱や缶、カップなどを上手に組み合わせ、音の出るオリジナル楽器を作りました。子どもたちは、「いい音が出たよ。」「自分たちで演奏会ができる!」と、楽しみながら作っていました。材料が違くと音も違うことに気が付き、工夫する様子も見られました。最後には、ギタリストや打楽器奏者など、様々な演奏家でいっぱいになり、互いに音を聴き合いました。



## 3年生 書き初めをしました

書写では、3年生から毛筆学習が始まっています。書き初めは、字の上達を願うとともに、今年の学習の成果を発揮する場でもあります。広い体育館と大きな書き初め用紙という慣れない環境で緊張した面持ちもありましたが、子どもたちは堂々と「友だち」を書いていました。教室の前に、子どもたちの力作がずらりと並びました。「友だち」を書いた子どもたち。今年も友だちを大切にし、なかよく楽しく過ごしてほしいと願っています。



## 4年生 「ほってすって見つけて」

4年生は図工の学習「ほってすって見つけて」の学習で、初めての彫刻刀に挑戦します。彫刻刀の種類や彫り方を学習し安全に気を付けて、ゆっくりと彫っていきました。どの子も大変集中していて、高学年らしく成長してきているのを感じました。

今後、自分の好きなものや行ってみたいところ、想像したことなどを版画にしていきます。できあがりを楽しみます。



## 5年生 6年生へ向けて各クラス、新たな目標を立てました。

あと3か月で最上級生となる5年生。最高学年としてよりよいスタートが切れるように、今自分たちのクラスがどのくらいクラス目標に近づけているのかを話し合っ確認し、一人ひとり個人目標を立てました。「低学年の面倒を見る」「メリハリをつける」など6年生に向けてよい目標ができました。日々意識して行動できるように支援していきます。



## 6年生 卒業に向けてのカウントダウン

新年が始まり、いよいよ卒業に目を向ける時期となり、各クラスで卒業までのカウントダウンカレンダーの作成に取り組みました。一人一人みんなに向けたメッセージを作成し、卒業に向けて気持ちを高めているところです。メッセージには、友達に向けた感謝の気持ちや中学での抱負などが書かれていました。残りの時間で自分たちでできることややりたいことを話し合い充実した学校生活を送れるようにしていきます。



## 5組 生活 ふゆとともだち

生活の「ふゆとともだち」では、冬に遊べる遊びはなにかをみんなでも考えました。校庭に出て、影遊びをしたり、北風を利用して紙飛行機を飛ばしたりして楽しく活動しました。教室の中では、お正月遊びのお手玉やだるま落とし、羽根つきやこま、けん玉で遊びました。羽根つきは、力の加減によって、打ち返すことが難しいと話していました。けん玉では、大皿に玉をのせようと真剣に取り組んでいました。



## 児童支援専任より

7日（金）の朝、正門前で立っていると、子どもたちの「おはようございます」という元気な声が聞こえてきました。教室では、久しぶりに再会した友達や先生と冬休みのことについて笑顔で話す姿がたくさん見られました。その声を聞いて「充実した冬休みを過ごせたのかな」とほっと胸を撫で下ろしました。

また、校門付近で立つ地域の方々や放課後キッズクラブのスタッフの方々などと新年のご挨拶をさせていただきました。そこで感じたことは、コロナ禍で様々な制限があるにもかかわらず、二俣川小学校の教職員や子どもたちは、多くの方々に支えられて教育活動を行えているのだなということです。周囲の方々の細やかな配慮や支援のおかげで子どもたちは安心・安全に登下校することができ、充実した学校生活を送ることができています。これからも子どもたちが地域を大切に、感謝の気持ちをもって過ごすことができる。そんな二俣川小学校にしていけるように教職員一同力を合わせて取り組んでいきます。